

会議の概要

令和6年度 第8回

おおたま学園コミュニティ・スクール委員会 (兼大玉村地域学校協働本部第2回地域教育協議会)

- 大山幼稚園学校運営協議会 ○ 玉井幼稚園学校運営協議会
- 大山小学校学校運営協議会 ○ 玉井小学校学校運営協議会
- 大玉中学校学校運営協議会

日 時：令和7年1月14日（火）18:30～20:30

場 所：改善センター1，2階 多目的ホール他

* 白沢中学区学校運営協議会研修視察（7名：会長、副会長、ディレクター、委員、事務局校〈和田小〉校長・教頭、本宮市教委参事）

（進行 指導主事 渡邊 博樹）

1 開会のことば （コミュニティ・スクール委員会副会長 吉田 都）

皆さん、こんばんは。改めまして、新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。これより、令和6年度第8回おおたま学園コミュニティ・スクール委員会（以下CS委員会と略記）を始めます。よろしくお願いいたします。

2 教育長あいさつ 出張（村民の翼〈台湾〉）のため割愛

3 おおたま学園CS委員会会長あいさつ （CS委員会会長 矢吹 吉信）

皆さん、お晩でございます。新年第1回目の会議ということで、改めまして、明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

白沢中学区の学校運営協議会の皆様、ようこそ大玉村にお越しいただきました。以前、本宮のサンプライズで行われたCSの会議に参加させていただいた時に、白沢中学区、本一中学区、本二中学区ということでお話をさせていただいたのですが、やはり大玉村に近いのは白沢中学区なのかなという印象でございました。大玉村だと大山小、玉井小があって1つの大玉中があるのですが、白沢地区も3つの小学校があり白沢中に皆さんが通うということで、非常に似た形になると思いますので、ぜひ参考にさせていただければと思います。

今日は2月に行われますコミュニティ広場の内容が主の会議になります。熟議もございますので、白沢中学区の皆さんにはその辺を重点的にご覧いただければと思います。

委員の皆さん、見られて多少緊張するかもしれませんが、いつものように活発に意見を出していただきますようよろしくお願いいたします。



4 諸連絡

- 本日の日程・内容について

＜本日の協議題＞

- (1) 第6回おおたまコミュニティ広場（第16回教育フォーラム）最終打合せ
- (2) 令和7年度CS委員会活動についての説明

(3) 令和6年度地域学校協働活動事業実施状況等報告(評価・検証委員会)

(4) コミュニティ・スクール委員会について各校・各園ごとに熟議

- ① コミュニティ・スクール委員会の運営についての熟議
- ② 各校・各園からの報告
- ③ 全体共有

5 協 議

(座長 CS副会長 浅和 博栄)

(座長) それでは協議を進めさせていただきます。まずは第6回おおたまコミュニティ広場最終打ち合わせということで、当日の運営の流れ、役割分担、進行表等の説明を事務局よりお願いします。

(1) 第6回おおたまコミュニティ広場(第16回サマミヤ)最終打合せ

① コミュニティ広場当日の運営の流れ、役割分担、進行表等の説明 (指導主事 渡邊 博樹)

- 「4 日時」2月15日(土) 9:00~11:45
- 「5 会場」改善センター 多目的ホール他
- 「6 参加者」130名程度
- 「7 内容・方法」

第1部 テーマ【大玉村の魅力と未来の可能性を発信しよう!】

- ・大山小5年「大玉村の魅力 見つけ隊! 伝え隊!」
- ・玉井小6年「いつまでも安心・安全な大玉村のために」
- ・大玉中1, 2年「大玉村の『発展』と『継承』に向けて」

第2部 テーマ【みんなが進んで学ぶようになるためにはどうしたらいいだろう? ~読書・家庭学習の視点から~】

- ・2つの視点(読書 or 家庭学習)から1つを選び熟議を行う。
- ・グループの子どもに選択してもらう。どちらになるかについては、名簿ができ次第CS委員にお知らせする。

- 「8 日程」
 - ・CS委員は7時40分集合 → 最終打合せ(1F多目的ホールにて)
- 「9 会の順序・役割分担等」
 - ・(3) 第2部のグループの司会はCS委員が行う。
- 「10 係分担」
 - ・去年と変えていない。今年変えて欲しい場合は、事務局 渡邊まで申し出て欲しい。
- 「会場図」
 - ・別紙参照 … 16グループとなっているが減るかもしれない。
- 「進行表」他については前回の委員会で説明した通り<資料参照>

② 質疑応答

(座長) 役割分担、進行表の確認ということで今説明がありました。共通理解をしておきたいことなのですが、記録係については各班で司会進行が任命するというのでいいのでしょうか。

(渡邊) 事務局の方で毎回記録は各校の先生方をお願いしておりました。司会進行はCS委員の皆さんにお願いしたいと思います。

(座長) その他皆さんから何かございますか。

(CS委員) ~ 特にない様子 ~

(渡邊指導主事) では、コミュニティ広場については以上になりますが、名簿ができ次第、前もって読書なのか家庭学習なのかお知らせ(郵送)いたしますのでよろしくお願いします。

(2) 令和7年度CS委員会活動についての説明 (指導主事 渡邊 博樹)

※資料に基づき説明

(渡邊指導主事) 要項の2ページの「令和7年度の重点(基本方針)」をご覧ください。

太字、取り消し線の部分等が変更したところですのでご覧ください。

- オープンスクール(おおたま学園主催の授業研究会)に、CS委員の皆様も参加し、各校園の学校運営協議会をその当日夕方に行う。熟議においては可能な限り子ども達や保護者・教員等の意見を取り入れ、~~保護者を参加させたりする~~など、子ども理解・学校理解・家庭理解のより一層の深まりとともに、子ども、学校、家庭、地域の協議の活性化をを目指す。
- 学校が主体となって企画するおおたまふれあいフェスタの運営に参画し、ねらいの達成に寄与するとともに、**子どもたちの意見を取り入れた活動を検討する。**
- 第7回おおたまコミュニティ広場(第17回大玉村教育フォーラム)は、保護者、村民の方々が年に1回集い、大玉村の**未来子どもたちの身近な課題**について語り合う場として実施する。その際、保護者、村民ができるだけ多く参加できるよう、呼びかけ・周知を図る。・・・

「活動内容」について

- ・令和7年度は委員の改選あり
- ・5月23日(金)に幼稚園のふれあいフェスタを実施する。
- ・オープンスクールの日程については教育事務所との打合せで後日決定

(座長) 次は、「(3) 令和6年度地域学校協働活動事業実施状況報告(評価・検証委員会)」について協働本部事務局よりお願いします。

(3) 令和6年度地域学校協働活動事業実施状況報告(評価・検証委員会) (統括CN 佐藤 勇人)

※資料に基づき説明(詳細は略)

① 令和6年度地域学校協働活動事業実施状況報告

ア 地域学校協働本部

イ 地域学校協働活動の実施内容

- 連携・協働活動Ⅰ、Ⅱ… 学校支援活動 他
- 放課後支援活動「放課後子ども教室」… 大山教室、玉井教室
- 土曜日、長期休業中の学習支援活動
 - ・小4～中2「おおたまっ子学び舎塾」(学びのオアシス)
 - ・小学生「おおたまっ子学び舎塾」(子ども司書養成講座)
 - ・共に学ぶ「おおたま未来塾」(中3)
- 家庭教育支援活動… 家庭教育支援チームの活動 他

② 「地域学校協働本部事業」アンケート集計結果

③ 「評価・検証シート」の提出について

(座長) 今、地域学校協働活動事業の実施状況等を聞いたわけですが、子どもを中心におき、家庭と地域全体の活動を1年間やっていると聞いています。検証・評価シートの提出は1月22日(水)までとなっています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

(3)の協議事項まで終了しましたが、(1)(2)を含めて何か気づいた点等あれば改めてお伺いしたいと思います。

(C S 委員) ～ 特にない様子 ～

(座 長) よろしいでしょうか。では、事務局の渡邊先生からお願いします。

(渡 邊) この後熟議に入って、今年度の反省と来年度に向けての話し合いとなります。別紙の「C S 委員会を振り返って」のアンケート用紙がありますが、これに記入しながら一緒に話し合うと、上手く進むと思います。アンケート用紙の提出も早くできますので、ぜひご活用ください。

(座 長) では、資料を持って移動していただきたいと思います。熟議の場所は要項の表紙に載っています。限られた時間ではありますが、活発な意見を出していただきたいと思います。午後 8 時頃から各校園からの報告を行いますので、多目的ホールにお戻りください。

～ 移 動 ～

(4) コミュニティ・スクール委員会について各園・各校ごとに熟議

① コミュニティ・スクール委員会の運営について熟議

(今年度の活動を振り返って / 次年度の活動を見据えて)

※ 各園・各校ごとに熟議を進める。



～ 移 動 ～

② 各校・各園からの報告

(座 長) 熟議大変お疲れさまでした。それでは各校・各園から報告ををいただいて、その後確認したいこととか、共通理解を図りたいことについての意見交換をしていきたいと思います。大山幼稚園からお願いします。

< 大山幼稚園 > (副園長 二瓶 博子)

大山幼稚園は玉井幼稚園と一緒に幼稚園チームで話し合いを行いました。

まず、ふれあいフェスタについてだったのですが、今年度時期を早めました。秋から 6 月に早め

たのですが、それはよかったと思います。(暑かったのですが、それは仕方がないことかなと…) 来年度は若干それより早めて実施する予定です、今年度時期をずらしたことで課題がたくさん見つかりましたので、次年度生かしたいなと思っています。

C S委員の皆様から、幼稚園のことではないのですが、登山について細かなお話をいただきました。登山は体力的に個人差があるので難しいということだったのですが、やはり目的は何なのかというところに立ち戻って見直す必要があるということでした。何のためにやるのかを考えてやらなくてはいけないのではという意見が出されました。

また、これは理想なのですが、C S委員が企画にもっと関わって、事前に準備も一緒に行い、その後先生たちに説明して取り組んでいくというC Sが中心となったスタイルのフェスタを実施できないかということです。いろいろ課題がでましたが、その他のことについては後藤副園長先生に説明をお願いします。



< 玉井幼稚園 > (副園長 後藤 弥和子)

C S委員としてこの先どうしたらいいのかなという話になりました。小さい村なので保護者同士のつながりがもっとできるよということと、C Sの活動をもっと知ってもらうためにはどうしたらいいのかなということです。C Sの日程を保護者の皆さんにお知らせして、見学に来てもらってはどうかという意見が出ました。

私たちは、集まっている子どもたちのために話し合ったりすることができます。他の保護者の方々の中にも「どんなことをしているのかな?」とか、「来たいんだけどもいつやっているか分からない」とかあると思うので、お知らせをして自由に来てもらってもいいかなと…。夜の時間帯で難しいとは思いますが、まずはお知らせをるところから始めたらいいのではないかという意見が出されました。

また、保護者同士のつながりを深めるためには、やはり保護者の話し合いの場をもっとつくっていく必要があるのではないかという意見が出ました。(保育参観、授業参観、懇談会等があっても早く帰ってしまう方も多い)

< 大山小学校 > (校長 澤藤 晃治)

熟議では、学校の中の様々なことを聞いていただきました。C S委員の方々には、「保護者と子どもと先生方みんなが winwin の関係ができれば最高だね」、「先生方の負担の軽減をC S委員ができたらいんだけどね」等のお話からスタートしました。話し合いの内容は次の通りです。

- フェスタの中の役割をもっともっとC S委員が引き受けること。
- フェスタ以外でも何かできることがあったら、いつでも言ってほしいこと。先生方の助けになるように。
- C S委員は保護者や学級担任の先生方となかなか接する機会がない。C S委員(会)は学校に寄り添う存在であるということをもっと(表に)出していきたい。

例えば、4月のPTA総会にC S委員が参加して保護者や教職員にメッセージを述べたり、日頃から気軽に学校の集まり等に来れるようにすることが挙げられる。

距離が近づくような取り組みをすることによって、課題解決につながるのではないかな。

< 玉井小学校 > (校長 五十嵐 洋之)

本日配付の「C S委員会を振り返って」のシートをもとに話し合いを行いました。

(成 果)

- オープンスクールについて
 - ・ C S 委員が今の子どもたちの学びを見返すことができた。地域の子どもたちを理解する上で有意義だった。
 - ・ 先生方の事前準備がこんなに丁寧に行われていて熱心な指導をされていること、また、指導の先生の話聞いて、さらに授業改善をする姿を間近に見ることができて大変有意義だった。
 - ・ 先生方が子どもたちのために日々努力しているんだなということが実感できた。
- ふれあいフェスタについて
 - ・ 本年度分散開催にしてよかったのではないかな。
 - ・ 安達太良登山について … 子どもの体力面を考慮する必要があるのだが、地元の山（日本百名山）であり、地域理解をする上でも有意義な活動であるので継続できればいい。登山だけの活動にしないで、日々の学習と関連させながら子ども理解を図っていく。

(課 題)

- C S 委員会自体の認知度の問題について
 - ・ 保護者、地域に C S ではこういう活動をしているということを広く発信できたらいいのではないかな。
 - ・ 保護者を巻き込みながら活動できれば素晴らしいということ。保護者は参加したいけれども会議がたくさんあることに困難を感じたり、参加すること自体に抵抗感があったりするので、その時だけ参加できるとか柔軟な参加の方法を検討していく。
 - ・ C S の活動自体の広報についても、学校と行政が連携しながら進められればいい。

< 大玉中学校 > (校長 久保寺 徹)

熟議で話題の中心になったのは、C S 委員会の認知度ということです。

- 認知度が低いのは、地域というよりは「先生方もよく分かっていない」ということもある。
 - ・ 地域学校協働本部事業の評価等のアンケートを見ても、先生が負担感が大きいようなことを書いていたが、「いや、そうではないよね」と思った次第である。
 - ・ 例えば、毎回 C S 委員会には校長と副園長だけが出ているが、これをもう 1 人とか、ローテーションでいろんな先生を連れてこようかなと個人的に思った。(過去には地域連携担当教員が C S 委員として参加していた時期もあった) いろんな先生に C S 委員会とはどういうところか、何をやっているのかをまずは分かっていたくところからスタートすれば、学校と C S 委員会とのつながりが強くなっていくのではないかな。負担感と言うのは、要は「やらされている感」があるということなので、そのようにしていけば先生らも主体的に参加でき、今後の活動の活性化につながるのではないかなと思った。
- 新しく来た先生に C S についてきっちりと説明する場をつくる。
 - ・ 4 月におおたま学園全体会があって、その場で C S の説明はあるが、他にも各委員会等についての説明もたくさんあって、そちらの話の方が多くなってしまう。C S についてそれほど詳しい説明がされないんで、理解も不十分になるのではないかな。認知度を上げるためには、その辺の改善も必要である。
- C S の見える化
 - ・ 新しい C S 委員さんでもなかなか理解するまで時間がかかる。C S とはこういうものであるということが分かるものがほしい。学校でも発信できるようなすっきりとしたものがあるといい。

(座 長) ありがとうございます。各校、各園の熟議ということで、校長先生、副園長先生方からの発表がありました。今報告を受けた中で、確認したいことや共通理解を図りたいこと等、皆さんからご意見等があればよろしくお願ひしたいと思ひます。

(麻生委員) 私がＣＳ委員に声をかけられる前には、ＰＴＡ総会で保護者として参加している時に、総会資料にはさまれていたＣＳについてのプリントを見ながら、実施内容について説明を受けていたのですが、当時は全然真面目に聞いていませんでした。「大変だなあ」、「こういう人たちもいるんだなあ」というくらいにしか思っていませんでしたが、まさかこういう場（ＣＳ委員会）に参加することになるとはその時は思ってもいませんでした。今になれば、「こんなに大事なことをやっているんだ」ということは、実際にやってみると分かるんですよね。それは、学校に行って私たちが話すにしても、ちょっと練習してから行かないといけないし、プリントのただの棒読みではダメだと思います。経験した人が自分の言葉で、「私はこう関わりました」と言うことが大事だなと思います。

また、どこまでが秘密事項なのか、そこも判断が難しいですね。学力について、体力についていろいろな問題が出てくるので、どこまでをオープンにできるのか…。とにかく、どうしたらみんなが自分事として考えられるようになるのが課題だと思います。

(座長) ありがとうございます。実際にＣＳ委員としての麻生さんのご意見でした。その他皆さんから聞いておきたいこと等あればお願いします。

(武田委員) 今皆さんの話を聞いていて、ＣＳ委員会の認知度について多く意見が出てきたと思うのですが、先程の玉井小の分科会でもどうやったら認知度を上げられるのかなという話で、ＣＳを担当する先生方もいろいろ苦戦しているということです。私たちのようにＣＳに関わった人間の感想は、「やってよかった」、「すごいことをやっているんだな」、「子どもたちのためにこんなことをやっているんだな」ということが分かってよかった」というのがほとんどだと思います。そういったものをどうやって保護者の方に分かってもらい、こちらに目を向けてもらうのがすごく難しいなと話し合っていました。

その中で意見が出たのですが、学習発表会の発表の合間（準備の時間）にコンパクトにまとめてＣＳのアピールをしてはどうかということです。ちょっとずつでもいいから、そういったところから入り込んでいって、１人でも分かってついてきてくれる人がいればいいなと思いました。そういう時に、私でよければ使っていただければと思います。

(座長) コロナ禍になって、保護者同士のコミュニケーションが薄れている中、ＣＳ委員の影も薄くなってしまっている部分もあったのかなと感じております。

(後藤吉委員) ＰＴＡ役員になり、その後ＣＳ委員にという流れできました。保護者も先生方も、当事者にならないとどうしても興味が湧かないのだと思います。急にはなかなか難しいので、役員からＣＳ委員という流れで経験してもらって、経験者の枠を増やしていければいいと考えます。（広く様々な方にといいのは理想ですが…）

(矢吹会長) 貴重なご意見を皆さんからいただきました。今年は、やはり認知度アップと言うことで、先生方、保護者との距離を縮めたいと考えておりますので、事務局の渡邊先生とこれからいろいろ準備させていただきたいと思います。活動が先生方の負担にならないような方法でＣＳのＰＲをさせていただきたいと思っております。貴重なご意見ありがとうございました。



(座 長) その他皆さんから何かございますか。

(C S 委員) ～ 特にない様子 ～

(座 長) C S 等についてのアンケートもございます。他にご意見をやご要望がございましたら、ご記入の上提出してください。今回は、「地域学校協働本部事業の評価・検証シート」、「C S 委員会を振り返って」の2つがありますのでよろしくお願いします。期限を守ってご提出ください。これで協議を終了します。ご協力ありがとうございました。

6 その他

(1) 各校園主催の学校関係者評価について

- 今後各校・各園から学校関係者評価委員会の案内が出される。

大山幼…1 / 2 7 (月)

玉井幼…2 / 3 (月)

大山小…1 / 2 1 (火)

玉井小…1 / 2 9 (水)

大玉中…1 / 3 0 (木) *調整中

- 次回のC S 委員会で各校・各園の評価結果についてリーダー(委員長)に説明いただく。

(2) アンケート「今年度の成果と課題」の提出について

- 提出は2月3日(月)までにいずれかの方法でお願いしたい。(直接の提出、QRコード等でフォームに入力、郵送、電子メール、FAX等可)

- 令和7・8年度のC S 委員の参加意向 … ぜひ継続をお願いしたい。

募集チラシを1 / 2 1 (火)に全戸に配布予定

(3) 次回(最終)の予定 2月26日(水) 18:30～

- 各校園の学校関係者評価に関する報告
- 令和7年度各校園の教育課程(案)の説明及び承認
- 令和7年度C S 委員会計画
- 令和6年度地域学校協働活動事業「評価・検証のまとめ」について
- その他

7 閉会のことば

(C S 委員会副会長 館下 愛理)

皆さん、今日も盛りだくさんの内容のご協議ありがとうございました。白沢中学区学校運営協議会の方もご参加ありがとうございました。何か機会があれば交流できたらと思います。これで令和6年度第8回おおたま学園C S 委員会を終わります。ありがとうございました。

